

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」新千葉校		
○保護者評価実施期間	2024年12月10日		～ 2024年12月21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	78	(回答者数) 34
○従業者評価実施期間	2024年12月10日		～ 2024年12月21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年1月11日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどもやご家族からの申し入れに柔軟に対応している。	その日のお子さんの状況を保護者様から丁寧に聞き取り、臨機応変に支援プログラムを遂行している。	引き続き保護者さまと情報共有し、どの職員が対応しても適切な対応ができるようにしていく。
2	日頃からこどもの状況を保護者と伝えあい、共通理解している。	支援後のフィードバックの時間を有効に使い、支援報告だけでなく、ご家庭や学校でのお子さんの様子を伝えてもらっている。	フィードバックの時間だけでなく、相談支援についても積極的に提案していく。
3	他児との交流の機会を小集団活動として提供している。	長期休暇などにや季節に応じたイベントを開催し、他児との交流の機会を作っている。また、個別支援では見ることができないお子さんの強みについて、保護者の方に報告している。	お子さんが参加したいと思う企画を提案し、定期的な集団活動を通して、幅広く支援を行っていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	定期的な情報の発信	利用に関する情報は毎月発信しているが、日々の支援の様子を伝えることができていない。	より安心してお子さんを預けてもらえるよう、事業所の様子や取り組みについて、HPやSNSを活用して情報発信していく。
2	音や声などの環境調整	各ブースがパーテーションで区切られているだけなので、他児の活動している音や声を遮断することが難しい。	・訓練の様子を具体的に分かりやすく報告すると同時に、参加型の訓練を取り入れていく。
3	非常時等の対応	毎月に防災・防犯訓練をして内容を掲示しているが、あまり伝わっていない。報告が文字情報のみで目につきにくい内容になっている。	・訓練の様子を具体的に分かりやすく報告すると同時に、参加型の訓練を取り入れていく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 子どものサポート教室「きらり」新千葉校

公表日 2025年 2月 15日

利用児童数 78

回収数 34

	チェック項目	回答				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	29	4	0	1	音が気になる。	完全に音を遮断することは難しいですが、他の利用者様がいる場合の活動時間は、大きな声や音を出さないよう、ご本人と約束して支援するようにいたします。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	27	4	0	3		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	31	1	0	2		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	32	2	0	0	・「お楽しみ」の時間、他の子が勉強している中、音や声が気になる。 ・わが子のやり取りが聞こえないので、大きな声で話すお子さんは個室での支援をお願いしたい。	ブースの割り振りを決める時に、配慮が必要かどうかを検討しています。
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	27	6	0	1	・指導員によっては、そうではないと感じることがある。 ・“特性に応じた専門性のある”とまでは感じられない。	対応する指導員によって支援の質に差が出ないよう、日頃から情報共有を徹底し、学び合うように努めます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	31	1	0	2		
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	33	0	0	1		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等サービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	31	1	0	2		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	34	0	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	27	4	0	3	担当者や活動が変則的で社会訓練になると思うが、積み重ねによる苦手克服になっているか疑問に思うことがある。	活動プログラムが形骸化されて固定されることのないよう配慮しながら、積み上げが必要な活動については、全ての職員が個別支援計画に沿って支援ができるようにしていきます。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	16	3	9	6		
保 護 者 へ の	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	34	0	0	0		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	32	1	0	1		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	20	7	6	1	ペアトレは職場のつながりで学んだが、事業所でも企画があれば学びたい。	外部研修の案内を告知したり、職員が研修を受講し、直接保護者にペアレントトレーニングができるよう努めます。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	31	3	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	31	3	0	0		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	31	2	0	1		

説明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	17	6	12	9	必要としていない。	現状希望する声は聞いていませんが、今後必要でしたら検討していきます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	31	1	0	2		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	34	0	0	0	指導員によってムラがあるように感じる。	日々のミーティングを通して事業所内で共通理解を徹底していきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	21	8	0	5		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	31	2	0	1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	22	3	1	8		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	15	3	1	15	訓練を受けたことはない。	防災・防犯訓練については事業所で毎月行っていますが、小集団イベントとして参加型の避難訓練も検討していきます。また実際に訓練内容が分かるように報告の掲示方法を工夫していきます。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	22	3	0	9		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13	5	0	16		
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	33	0	0	1		
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	22	11	0	1	年齢的に素直になってくれない。	学習以外の楽しみや目的を感じられるように活動を工夫していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	29	5	0	0	・不登校向けのフリースクールのように毎日通えるサービスがあれば助かる。 ・規則上無理かもしれないが、1回の利用時間がもっと長ければよいと思う。現在の利用時間では少ししか問題を解くことができない。	・学校に通学するのが難しいお子さんの居場所として、月2回平日の午前中に活動時間を設けています。今後もお子さんや保護者様にとって、安心して過ごせる事業所として、営業方法を検討していきます。 ・校舎の体制上可能な場合は、支援時間を90分に設定して支援を提供することも可能です。事前にご相談いただいたうえで対応いたします。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 こどもサポート教室「きらり」新千葉校

公表日 2025年 2月 15日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切にされているか。	○			パーティーのねじのゆるみや、机やイスのぐらつきなど、安全面に普段から配慮します。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○			その日のお子さんのコンディションにより、後から「配慮が必要だった」と反省することがあります。どのお子さんも集中して活動できる環境を整えるよう努めます。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		今現在、第三者による外部評価の機会はないですが、実施された際は業務改善につなげていきたいです。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		委員会を設け、社内で定期的に研修を受講しています。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		モニタリング会議を実施して、事業所内の職員の意見を反映させています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		社内共通のアセスメントと、日々の支援後に実施している保護者への支援のフィードバックの際に、お子さんの近況についてお話を伺っています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○			

支援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		朝礼、夕礼等で、支援に関する情報共有を行い、活動プログラムの作成に活かしています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		前回は行った支援内容の確認や保護者からの意見、本日は行う予定の活動についての報告を行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		終礼や翌日の朝礼で、支援の振り返りを行い、次回の支援につなげています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		支援記録や簡易メモなどを基に、今後の支援の検証・改善に努めています。	記録が滞ることのないよう努めます。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		個別支援計画の見直し時期に、モニタリング会議を実施して、意見交換を行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○			
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○				
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○			年間を通しての予定については把握していませんが、宿泊を伴うイベントや運動会、学習参観など、お子さんや保護者様とお話の中で確認するよう努めます。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○			情報共有が必要と感じた際は、その都度対応していきます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			移行支援のニーズが生じた場合は、積極的に対応してまいります。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			児童発達支援センターに訪問し、関係作りから行っています。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○			イベントを通じた地域の子どもたちとの交流を検討していきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○			自立支援のニーズがあればその都度対応していきます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			日々の支援後のフィードバックの機会を通して、お子さんの状況や課題について伝え合っています。
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			外部研修の案内を告知したり、職員が研修を受講し、直接保護者にペアレント・トレーニングができるよう努めます。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に丁寧な説明を心掛けています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		ニーズがあった際に家族支援（面談）を行っています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○		保護者様からのニーズがあれば検討していきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			保護者様からのご意見については謙虚に受け止め、改善に向けて事業所全体で対応していきます。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		行事の案内や連絡等はLINEで行い、履歴を確認できるようにしています。急な連絡についても対応できるようにしています。	HPやSNSでの発信を定期的に行い、事業所の様子が分かりやすく伝わるよう努めます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報の入った書類は、鍵付きの保管庫に収納し、取り扱いに留意しています。	個人名の入った書類が放置されていないか、職員間で留意していきます。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		メールやLINE等で意思の疎通や情報伝達のための配慮をしています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		開かれた事業所を目指し、地域の子どもたちと交流できるようなイベントを企画していきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		定期的に防災・防犯訓練を実施しています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		契約時にアレルギーの有無を確認しています。	食事の提供はしていませんが、イベントでお菓子を出す場合は配慮していきます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		作成した安全計画を基に、支援を行っています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		○		十分な周知はされていません。防災訓練を実施したタイミングで、掲示物を通して周知していきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		定期的に虐待防止に関する研修を行っています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		契約時に事前に保護者に説明して支援を行っています。		